

## 令和 8 年度 若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業実施事業 エントリーシート（記入例）

※ 本記入例はあくまで参考例です。貴自治体の状況に応じて書き換えて記載ください。

### 1. 基本情報

自治体名	〇〇県△△町
担当部署名	〇〇課
担当者名・役職	〇〇 〇〇（〇〇）
連絡先（電話・メール）	000-000-0000 / example@example.jp
人口（年度・根拠）	12,345 人（2025 年度住民基本台帳）
会場候補	名称：△△町民センター 住所：△△町 1-2-3 想定収容人数：200 名 実験可否：理科実験可（給排水・電源設備あり）

### 2. 事業目的の理解・整合性

本町では女子生徒の理工系選択率が低く、進路調査では男子 23%に対し女子は 8%に留まっています。背景には家庭・地域に根強く残る「理科は男子向け」という無意識の思い込みがあると考えています。本事業では、若手女性研究者による実体験紹介や体験型プログラムを通じ、女子生徒が将来を具体的に描ける機会を創出します。

また、本町の教育振興計画（第 3 節）および男女共同参画計画では「女子の理数系分野への興味関心の育成」「ロールモデル提示」を重点施策としており、本事業はこれら政策と高い整合性があります。

### 3. 地域の課題認識と必要性

本町では小中学校の理科イベントは年間 1 回のみであり、近隣の科学館までは公共交通で片道 80 分を要します。また、理工系進路への進学率は県平均を大きく下回り、特に女子の割合が低い状況です（県平均 14%に対し本町は 8%）。

人口規模も小さく、企業主催の科学体験機会も少ないため、出前授業によって高品質の理系体験を提供する必要があります。

#### 4. 過去実績と実施授業イメージ

##### 【過去実績】

- ・2024 年度 町科学教室（参加者 70 名／女子 33％／満足度 4.6 点/5 点）
- ・2023 年度 キャリア教育講演会（中高生 120 名）

##### 【実施希望イメージ】

- ・若手女性研究者による専門紹介と進路トーク
- ・簡易実験（化学反応、プログラミング体験など）
- ・学校横断の女子生徒ネットワーク形成ワークショップ

#### 5. 実施体制

##### 【体制図】

総括：〇〇課長

実務：〇〇課（広報・募集）、▲▲課（会場・設備）

運営事務局窓口：□□課 主任

【意思決定】 週次ミーティングで協議。

#### 6. ロールモデル候補者の探索

県立大学工学部、地域製造業〇社、女性エンジニアコミュニティとの連携により、従事 10 年以内の若手女性技術者〇名に派遣協力予定。分野は情報・材料・機械の多様性を確保。

#### 7. 参加者目標と広報

【目標人数】小学生 20 名／中学生 20 名／高校生 20 名／保護者・教員 20 名 計 80 名

##### 【広報方法】

- ・全校通知、校長会での案内
- ・保護者へのメール配信
- ・町広報、公式 SNS（LINE、Instagram）
- ・近隣自治体へ案内文発送

#### 8. 持続性・波及効果

事後アンケートを学校にフィードバックし、次年度は「理工系探究プロジェクト」として継続。大学・企業との連携を強化し、女子生徒向けロールモデル座談会や工場見学等を年 1 回開催予定。

## 9. その他

本町では女性技術者ネットワークを立ち上げ予定であり、本事業を契機に地域ロールモデルの掘り起こしと継続的な学びの場づくりを推進します。